



学校だより 1月

“桜川 学びのエリア：桜川中・桜川小”

令和8年1月8日
板橋区立桜川小学校
No.9



新しい年、気持ちを新たに



校長 八代 麻子

令和8年になりました。午（うま）年ということで、何事も「うま」くいきますようにと願っております。また、桜川小学校の子どもたちと保護者・地域の皆々様にとって、希望に満ちた明るく輝きのある年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

本年も、子どもたちのもてる力を伸ばしていけるように、教職員一丸となって教育活動を進めてまいります。

さて、本日の始業式では、以下の内容について話しました。

【今年の夢・目標は何ですか？】

皆さんは、どんな初夢を見ましたか？（私は「何故か左足をけがして、手術を受けた夢」でした。だから、自分の身に何か起きるかもしれないと、健康面や安全面に気を付けて過ごしていくことが、長期目標の一つになりました。）

3学期の学校生活での目標も立てることと思います。皆さん一人ひとりが、自分の夢や目標に近付いていけるように、サポートしていきます。困ったことや心配なこと、聞いてみたいことがあったら、遠慮せずに相談してください。

【これからが、これまでを決める】

年明け、あるお寺の入り口に毛筆で書かれて掲示されていた言葉で、とても印象に残りました。3学期は、1年間のまとめと、進級・進学に向けての心構えを行っていく期間です。自分がどのように学習したり行動したりすればよいのかを十分に考えて生活していくことが大切ですし、これまで頑張ってきた努力の積み重ねも、きっと生きてくるはずです。

【桜川小にとっての令和8年】

昨年10月、創立70周年をお祝いしましたが、桜川小の歴史はつながっていきます。桜川小の一員として、学校や桜川地域のステキなところをどんどん発見して、もっともっと好きになってほしいと思います。

多くの目で見守り育てる中で、子どもたちが「安心」して学校生活を送り、できるようになったという「自信」をつけ、桜川小でよかったですと「誇り」に思えるように、また、保護者・地域の皆々様にもそう思っていただけるように、努力を続けてまいります。

今後とも、ご理解とご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

皆々様は、どんな冬休みでしたでしょうか。私は外出の際、令和7年の様々な瞬間を写した「報道写真展」を鑑賞しました。一枚の写真から、その時の状況や被写体となった方々などの思いを、どう伝えるのか。伝わり方も考えながら、伝え方を工夫していくことの重要性について考えさせられました。